大和市男女共同参画懇話会　第２回会議記録（要点筆記）		
開催日時		令和５年５月９日（火）午後３時２５分～午後４時３５分
開催場所		大和市役所　第１分庁舎　第２会議室
出席状況	委員	出席：５名　高橋座長、山本座長代理、小林委員、関水委員、岡本委員 欠席：２名　関口委員、清水委員
	事務局	３名（国際・男女共同参画課長　他２名）
	傍聴者	０名
公開・非公開の状況		■公開　□非公開　□一部非公開

【次第】

１　開会

２　議題

（１）令和４年度大和市男女共同参画に関する市民意識調査の結果について

（２）（仮称）第４次やまと男女共同参画プランの策定について

（３）男女共同参画懇話会のスケジュールについて

（４）その他及び伝達事項

【資料】

資料１　　令和４年度大和市男女共同参画に関する市民意識調査の結果について

資料２－１　（仮称）第４次やまと男女共同参画プランの策定について

資料２－２　（仮称）第４次やまと男女共同参画プラン策定スケジュール（案）

【議事要旨】

１　開会

◎事務局より挨拶

⇒各委員より自己紹介を行う。

２　議題

（１）令和４年度大和市男女共同参画に関する市民意識調査の結果について

◎事務局より資料１に基づき説明。

座）２０代、３０代の回答者が少ないため、何らかの工夫が必要ではないか。

事）ほかの市民調査で庁内でも課題となっており、スマートフォンによる回答等を検討しているところである。

座）保育園に迎えにくるお父さんが増えているため、そのお父さんに意見を伺ったら、２０、３０代の意見をいただくことができるのではないか。

委）現実的に「男は仕事、女は家庭」では生活が成り立たなくなっている。共働きが普通。

委）実感として、男性も家庭を優先したい人が増えている。

委）女性が社会で働くことについて、５年前は「子どもができたら仕事はやめ、大きくなったら再び働く方がよい」との意見が最も多かったものが、今回は「結婚や子どもができることに関わらず働き続ける方がよい」との意見が最も多くなっていることから、この５年間で、女性が社会で働くことについて、意識が変わっていることがわかる。

委）女性が社会で働くことについて、男性と比較すると、女性は、若い頃に重要な職務が与えられないことなどから、管理職への意欲が起こらない人や管理職を務める自信がない人が多いと思う。

委）ＤＶ等についても、社会の意識が変わっていると感じる。以前は、ＤＶは家庭内の話または個人の話と受け止められていたが、最近では、社会的に広く取り上げられるようになったと感じる。

委）昨今は「男女共同参画」に加えて、男女に限らない「ジェンダー」が注目されている。神奈川県の「かながわ男女共同参画推進プラン」でも、基本目標に「ジェンダー平等」を取り入れて、プラン冊子の表紙にもサブタイトルとして「ジェンダー平等」が記載されている。

（２）（仮称）第４次やまと男女共同参画プランの策定について

◎事務局より資料２－１に基づき説明。

座）「男女共同参画社会基本法」の簡単な内容を教えてほしい。

委）「男女共同参画社会基本法」は、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会の促進に関する施策の推進を図ることが重要としていて、その促進のために男女共同参画基本計画を定めることとしている。現在のその基本計画には、防災や地域における女性の参画の推進、女子生徒の理工系選択促進、不妊治療の保険適用の実現等の女性の生涯を通じた健康支援、女性に対するあらゆる暴力の根絶など多岐にわたる分野で様々な施策について記述されている。

（３）男女共同参画懇話会のスケジュールについて

◎事務局より資料２－２に基づき説明。

質疑・意見他

特になし

（４）その他及び伝達事項

◎事務局より外部アドバイザーの講義（５月３０日）について説明

座）出欠席は各自調整し、事務局に連絡のこと。

以上

注（座：座長　　委：委員　　事：事務局）